

## 目次

図表番号	図表表題
1.1	症例構成
1.2	施設
2	診断
3.1 <sup>※</sup>	患者特性
3.2 <sup>※</sup>	患者状態
3.3 <sup>※</sup>	外科的治療歴
3.4 <sup>※</sup>	その他治療歴
3.5 <sup>※</sup>	過去3か月間の栄養法
3.6 <sup>※</sup>	過去3か月間の補液
3.7 <sup>※†</sup>	QOL
3.8 <sup>※</sup>	合併症
3.9 <sup>※</sup>	血液検査所見
4 <sup>※</sup>	身長及び体重のZスコア
5 <sup>※</sup>	最終的な転帰
6 <sup>*</sup>	IFALDの有無に関連する因子
7.1 <sup>*</sup>	現在の小腸移植の必要性に関連する因子
7.2 <sup>*</sup>	小腸移植の適応となる基準に関連する因子
8 <sup>*</sup>	発症からの経過時間毎の臨床症状
9.1	乳児における生存率に関する解析
9.2	乳児におけるIFALD発症率に関する解析
9.3	生存率・IFALD発症率・患者特性項目に関する乳児と小児/成人の比較
9.4	乳児における離脱率に関する解析
10	短腸症候群症例における20歳以上と20歳未満の比較

註) 発症時年齢が1歳未満を乳児、1歳以上18歳未満を小児、18歳以上を成人と定義した。

全症例には発症時年齢が計算できない症例も含めて集計した。

※全症例、成人、小児、乳児の集団において集計解析した。ただし図表4については乳児及び小児の集団のみとした。

\*全症例、成人、小児、乳児、クローン病の集団において集計解析した。

†死亡症例は除いた。

## 1.1 症例構成

データ入力された全症例	354 例
	解析除外症例 0 例
解析対象症例	354 例

## 1.2 施設

施設名・科名	全症例 (n=354)
	症例数 (%)
国立成育医療センター 外科	28 ( 7.9)
東北大学 小児外科	23 ( 6.5)
宮城県立こども病院 外科	14 ( 4.0)
千葉大学医学部附属病院 小児外科	14 ( 4.0)
九州大学大学院 小児外科	13 ( 3.7)
大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科	13 ( 3.7)
大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科	12 ( 3.4)
慶応義塾大学 小児外科	11 ( 3.1)
埼玉県立小児医療センター 外科	11 ( 3.1)
北里大学医学部 外科	10 ( 2.8)
愛知県心身障害者コロニー中央病院 小児外科	9 ( 2.5)
群馬県立小児医療センター 外科	9 ( 2.5)
新潟大学大学院 消化器・一般外科	9 ( 2.5)
長野県立こども病院 外科	8 ( 2.3)
福岡大学筑紫病院 消化器科	8 ( 2.3)
あいち消費保健医療総合センター 小児外科	7 ( 2.0)
聖マリアンナ医科大学 小児外科	7 ( 2.0)
北海道立子ども総合医療・療育センター 小児外科	7 ( 2.0)
三重大学 消化管・小児外科	6 ( 1.7)
東海大学医学部外科学系 小児外科学	6 ( 1.7)
東北大学 胃腸外科	6 ( 1.7)
北海道大学医学部 小児外科	6 ( 1.7)
獨協医科大学 第一外科	6 ( 1.7)
京都大学医学部 小児外科	5 ( 1.4)
新潟大学大学院 小児外科	5 ( 1.4)
大阪労災病院 外科	5 ( 1.4)
大分県立病院 小児外科	5 ( 1.4)
(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 小児外科	4 ( 1.1)
旭川医科大学 小児外科	4 ( 1.1)
杏林大学病院 小児外科	4 ( 1.1)
県立広島病院 小児外科	4 ( 1.1)
国立病院機構岩国医療センター 消化器外科	4 ( 1.1)
山口大学 消化器腫瘍外科(第2外科)	4 ( 1.1)
自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児外科	4 ( 1.1)
神戸大学医学部附属病院 小児外科	4 ( 1.1)
大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科	4 ( 1.1)
福島県立医科大学 小児外科	4 ( 1.1)
大阪市立総合医療センター 消化器外科	3 ( 0.8)
東京女子医科大学八千代医療センター 小児外科	3 ( 0.8)
北里大学東病院 消化器内科	3 ( 0.8)
京都府立医科大学 消化器内科	2 ( 0.6)
近畿大学医学部奈良病院 小児外科	2 ( 0.6)
近江八幡市立総合医療センター 小児外科	2 ( 0.6)
金沢医科大学 小児外科学教室	2 ( 0.6)
君津中央病院 小児外科	2 ( 0.6)
秋田赤十字病院 第一内科	2 ( 0.6)
新潟市民病院 小児外科	2 ( 0.6)
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 小児外科	2 ( 0.6)
藤田保健衛生大学 小児外科	2 ( 0.6)
日本大学医学部 外科学講座小児外科学部門	2 ( 0.6)
姫路赤十字病院 小児外科	2 ( 0.6)
福島県立医科大学 消化管外科	2 ( 0.6)
兵庫医科大学 小児外科	2 ( 0.6)
旭川厚生病院 消化器科	1 ( 0.3)
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児外科	1 ( 0.3)
久留米大学医学部 小児外科	1 ( 0.3)
協立病院 外科	1 ( 0.3)
熊本市立熊本市民病院 小児外科	1 ( 0.3)
熊本大学 小児外科・移植外科	1 ( 0.3)
慶応義塾大学 消化器内科	1 ( 0.3)
国立病院機構呉医療センター 小児外科	1 ( 0.3)
済生会習志野病院 外科	1 ( 0.3)
埼玉医科大学 消化器・一般外科	1 ( 0.3)
埼玉医科大学総合医療センター 小児外科	1 ( 0.3)
鹿児島大学病院 小児外科	1 ( 0.3)

## 1.2 施設

施設名・科名	全症例 (n=354)
	症例数 (%)
昭和大学 小児外科	1 ( 0.3)
昭和大学横浜市北部病院こどもセンター 小児外科	1 ( 0.3)
新潟県立中央病院 小児外科	1 ( 0.3)
防衛医科大学校 内科学二	1 ( 0.3)

## 2 診断

項目	カテゴリーまたは統計量		全症例 <sup>†</sup>	成人	小児	乳児
			(n=354)	(n=63)	(n=49)	(n=231)
			症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
腸管不全の分類	短腸症候群		195 ( 55.1)	56 ( 88.9)	26 ( 53.1)	106 ( 45.9)
	運動機能障害		147 ( 41.5)	7 ( 11.1)	19 ( 38.8)	117 ( 50.6)
	その他機能障害		12 ( 3.4)	0 ( 0.0)	4 ( 8.2)	8 ( 3.5)
短腸症候群の場合	原疾患	中腸軸捻転	58	4	12	38
		小腸閉鎖症	39	0	2	37
		クローン病	28	23	5	0
		上腸間膜動脈血栓症	10	9	1	0
		壊死性腸炎	10	0	0	10
		腹壁破裂	7	0	0	7
		外傷	1	0	1	0
		その他	40	20	4	14
		欠測	2	0	1	0
	発症日から調査票記入日*までの期間(月)	症例数	186	56	24	106
		平均値	114.8	189.8	121.9	73.6
標準偏差		121.4	148.7	136.1	74.8	
最小値		2.6	9.5	2.6	4.2	
中央値		64.9	136.9	62.7	50.6	
最大値		496.9	496.9	435.7	455.7	
欠測数	9	0	2	0		
運動機能障害 または その他機能障害 の場合	原疾患	ヒルシュスプルング病類縁疾患	63	0	4	58
		CIIPS	33	5	10	16
		ヒルシュスプルング病	30	0	0	30
		MMIHS	18	0	3	14
		難治性下痢	6	1	2	3
		その他	9	1	4	4
		欠測数	155	7	23	125
	発症日から調査票記入日*までの期間(月)	平均値	119.6	132.0	153.4	112.7
		標準偏差	104.4	137.3	124.5	98.0
		最小値	0.0	18.6	0.0	7.0
中央値		81.4	100.1	162.5	79.4	
最大値		435.9	435.9	363.9	388.5	
欠測数	4	0	0	0		

\*死亡症例の場合の「調査票記入日」は最終受信日とした。

† 発症時年齢が計算できない症例が11症例あった。

## 3.1 患者特性

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=354)	短腸症候群 (n=195)	運動機能障害 (n=147)	クローン病 (n=28)
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
性別	男性	182 ( 51.4)	121 ( 62.1)	55 ( 37.4)	17 ( 60.7)
	女性	172 ( 48.6)	74 ( 37.9)	92 ( 62.6)	11 ( 39.3)
発症時年齢(歳)	症例数	343	188	143	28
	平均値	8.4	13.0	2.9	26.3
	標準偏差	17.5	20.9	9.6	10.3
	最小値	0.0	0.0	0.0	14.6
	中央値	0.0	0.1	0.0	22.3
	最大値	97.9	97.9	69.0	53.0
	欠測数	11	7	4	0
調査票記入時年齢(歳)	症例数	353	194	147	28
	平均値	18.0	22.3	12.5	49.5
	標準偏差	20.5	24.3	13.2	10.1
	最小値	0.4	0.4	0.6	20.7
	中央値	8.7	9.8	7.6	49.5
	最大値	99.9	99.9	77.8	71.3
	欠測数	1	1	0	0
発症から調査票記入 時点までの期間(月) (発症からの経過期間)	症例数	341	186	143	28
	平均値	117.0	114.8	117.2	279.5
	標準偏差	113.8	121.4	103.1	129.5
	最小値	0.0	2.6	0.0	50.6
	中央値	70.6	64.9	81.4	286.2
	最大値	496.9	496.9	435.9	496.9
	欠測数	13	9	4	0

## 3.1 患者特性

解析対象集団：成人

項目	カテゴリ または統計量	全症例 (n=63)	短腸症候群 (n=56)	運動機能障害 (n=7)	クローン病 (n=23)
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量
性別	男性	38 ( 60.3)	36 ( 64.3)	2 ( 28.6)	14 ( 60.9)
	女性	25 ( 39.7)	20 ( 35.7)	5 ( 71.4)	9 ( 39.1)
発症時年齢(歳)	症例数	63	56	7	23
	平均値	39.5	39.4	40.2	28.5
	標準偏差	20.4	20.9	17.3	10.0
	最小値	18.2	18.2	22.2	18.2
	中央値	32.0	32.0	33.0	24.9
	最大値	97.9	97.9	69.0	53.0
	欠測数	0	0	0	0
調査票記入時年齢(歳)	症例数	63	56	7	23
	平均値	54.7	55.2	51.2	51.6
	標準偏差	16.4	16.4	18.0	8.5
	最小値	23.5	23.5	30.8	33.1
	中央値	52.2	52.4	41.4	52.2
	最大値	99.9	99.9	77.8	71.3
	欠測数	0	0	0	0
発症から調査票記入 時点までの期間(月) (発症からの経過期間)	症例数	63	56	7	23
	平均値	183.4	189.8	132.0	277.4
	標準偏差	147.6	148.7	137.3	129.7
	最小値	9.5	9.5	18.6	50.6
	中央値	117.5	136.9	100.1	291.6
	最大値	496.9	496.9	435.9	496.9
	欠測数	0	0	0	0
身長(cm)	症例数	61	54	7	23
	平均値	161.8	161.7	162.3	162.9
	標準偏差	9.8	9.8	10.6	9.2
	最小値	128.3	128.3	145.0	149.0
	中央値	161.0	161.5	158.0	162.0
	最大値	177.5	177.5	174.5	177.0
	欠測数	2	2	0	0
体重(kg)	症例数	60	53	7	23
	平均値	49.1	49.1	49.3	49.4
	標準偏差	9.5	8.4	16.8	7.9
	最小値	31.0	31.0	34.8	37.8
	中央値	50.0	50.5	46.8	51.6
	最大値	81.7	67.0	81.7	65.0
	欠測数	3	3	0	0
BMI	症例数	60	53	7	23
	平均値	18.7	18.7	18.4	18.5
	標準偏差	2.5	2.2	4.6	1.9
	最小値	12.1	12.1	14.7	15.6
	中央値	18.6	18.7	16.5	17.9
	最大値	27.9	23.5	27.9	22.3
	欠測数	3	3	0	0

## 3.1 患者特性

解析対象集団：小児

項目	カテゴリ または統計量	全症例 (n=49)	短腸症候群 (n=26)	運動機能障害 (n=19)	クローン病 (n=5)
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量
性別	男性	29 ( 59.2)	18 ( 69.2)	8 ( 42.1)	3 ( 60.0)
	女性	20 ( 40.8)	8 ( 30.8)	11 ( 57.9)	2 ( 40.0)
発症時年齢(歳)	症例数	49	26	19	5
	平均値	7.8	9.2	6.3	15.8
	標準偏差	5.5	5.6	5.3	1.1
	最小値	1.0	1.0	1.2	14.6
	中央値	6.8	7.9	3.7	15.7
	最大値	17.7	17.7	16.9	17.5
	欠測数	0	0	0	0
調査票記入時年齢(歳)	症例数	48	25	19	5
	平均値	19.1	19.1	20.2	39.9
	標準偏差	13.2	14.6	12.8	11.8
	最小値	0.9	0.9	2.0	20.7
	中央値	15.3	13.3	22.3	40.8
	最大値	50.8	50.8	42.3	50.8
	欠測数	1	1	0	0
発症から調査票記入 時点までの期間(月) (発症からの経過期間)	症例数	47	24	19	5
	平均値	137.3	121.9	166.7	289.3
	標準偏差	130.1	136.1	130.4	143.5
	最小値	0.0	2.6	0.0	63.2
	中央値	67.2	62.7	184.6	280.7
	最大値	435.7	435.7	363.9	435.7
	欠測数	2	2	0	0
身長(cm)	症例数	47	25	18	5
	平均値	135.2	134.4	135.5	162.0
	標準偏差	26.5	28.4	26.7	8.3
	最小値	65.0	65.0	69.0	155.0
	中央値	140.0	133.0	143.0	160.0
	最大値	176.3	176.3	167.1	176.3
	欠測数	2	1	1	0
体重(kg)	症例数	47	25	18	5
	平均値	32.1	32.1	32.3	51.8
	標準偏差	14.8	16.9	13.2	13.3
	最小値	5.7	5.7	6.8	37.5
	中央値	35.3	27.0	35.7	52.5
	最大値	70.8	70.8	52.0	70.8
	欠測数	2	1	1	0
BMI	症例数	47	25	18	5
	平均値	16.4	16.4	16.6	19.5
	標準偏差	2.8	3.4	2.1	3.4
	最小値	9.8	9.8	13.8	15.0
	中央値	16.3	16.2	16.3	20.4
	最大値	22.8	22.8	21.1	22.8
	欠測数	2	1	1	0



## 3.1 患者特性

解析対象集団：乳児

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=231)	短腸症候群 (n=106)	運動機能障害 (n=117)	クローン病 (n=0)
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
性別	男性	108 ( 46.8)	62 ( 58.5)	43 ( 36.8)	-
	女性	123 ( 53.2)	44 ( 41.5)	74 ( 63.2)	-
発症時年齢(歳)	症例数	231	106	117	-
	平均値	0.1	0.0	0.1	-
	標準偏差	0.1	0.1	0.2	-
	最小値	0.0	0.0	0.0	-
	中央値	0.0	0.0	0.0	-
	最大値	1.0	0.8	1.0	-
	欠測数	0	0	0	-
調査票記入時年齢(歳)	症例数	231	106	117	-
	平均値	7.9	6.2	9.1	-
	標準偏差	7.5	6.2	7.9	-
	最小値	0.4	0.4	0.6	-
	中央値	5.6	4.2	6.3	-
	最大値	38.0	38.0	32.4	-
	欠測数	0	0	0	-
発症から調査票記入 時点までの期間(月) (発症からの経過期間)	症例数	231	106	117	-
	平均値	94.8	73.6	108.2	-
	標準偏差	90.0	74.8	94.4	-
	最小値	4.2	4.2	7.0	-
	中央値	64.8	50.6	75.9	-
	最大値	455.7	455.7	388.5	-
	欠測数	0	0	0	-
身長(cm)	症例数	208	93	107	-
	平均値	103.0	95.1	107.9	-
	標準偏差	32.4	30.2	32.2	-
	最小値	45.0	45.0	49.5	-
	中央値	100.0	96.0	107.8	-
	最大値	173.3	171.8	173.3	-
	欠測数	23	13	10	-
体重(kg)	症例数	215	98	109	-
	平均値	18.5	15.3	20.4	-
	標準偏差	13.0	10.7	13.5	-
	最小値	1.6	1.6	3.2	-
	中央値	14.8	14.3	15.9	-
	最大値	57.3	54.0	57.3	-
	欠測数	16	8	8	-
BMI	症例数	207	93	106	-
	平均値	15.8	16.1	15.5	-
	標準偏差	5.8	8.3	2.4	-
	最小値	9.2	9.2	11.6	-
	中央値	15.2	15.0	15.2	-
	最大値	89.1	89.1	22.5	-
	欠測数	24	13	11	-

## 3.2 患者状態

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=354)	短腸症候群 (n=195)	運動機能障害 (n=147)	クローン病 (n=28)
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
残存小腸の長さ(cm)	症例数	271	182	85	26
	平均値	70.0	54.7	103.9	134.5
	標準偏差	69.9	51.0	91.6	44.3
	最小値	0.0	0.0	0.0	40.0
	中央値	50.0	40.0	80.0	134.0
	最大値	700.0	300.0	700.0	210.0
	欠測数	83	13	62	2
残存小腸（十二指腸を含む） の長さ(cm)	症例数	70	49	20	2
	平均値	62.3	43.8	108.5	96.5
	標準偏差	87.6	36.0	146.5	23.3
	最小値	5.0	5.0	16.0	80.0
	中央値	50.0	30.0	62.5	96.5
	最大値	700.0	200.0	700.0	113.0
	欠測数	13	2	8	1
残存小腸（十二指腸を含まない） の長さ(cm)	症例数	191	125	63	24
	平均値	72.6	58.9	101.1	137.6
	標準偏差	60.1	51.7	66.9	44.4
	最小値	0.0	0.0	0.0	40.0
	中央値	55.0	43.0	80.0	139.0
	最大値	250.0	210.0	250.0	210.0
	欠測数	7	1	6	0
回盲弁の有無	無	175 ( 49.4)	108 ( 55.4)	65 ( 44.2)	22 ( 78.6)
	有	147 ( 41.5)	76 ( 39.0)	63 ( 42.9)	5 ( 17.9)
	欠測	32 ( 9.0)	11 ( 5.6)	19 ( 12.9)	1 ( 3.6)

註) 「十二指腸を含む/含まない」のチェックがない症例が10例あった。

解析対象集団：成人

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=63)	短腸症候群 (n=56)	運動機能障害 (n=7)	クローン病 (n=23)
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
残存小腸の長さ(cm)	症例数	57	53	4	21
	平均値	104.5	85.0	362.5	130.8
	標準偏差	106.2	60.9	225.0	46.2
	最小値	0.0	0.0	250.0	40.0
	中央値	80.0	80.0	250.0	120.0
	最大値	700.0	210.0	700.0	210.0
	欠測数	6	3	3	2
残存小腸（十二指腸を含む） の長さ(cm)	症例数	6	5	1	2
	平均値	195.5	94.6	700.0	96.5
	標準偏差	254.5	67.9	-	23.3
	最小値	20.0	20.0	700.0	80.0
	中央値	96.5	80.0	700.0	96.5
	最大値	700.0	200.0	700.0	113.0
	欠測数	1	1	0	1
残存小腸（十二指腸を含まない） の長さ(cm)	症例数	51	48	3	19
	平均値	93.8	84.0	250.0	134.4
	標準偏差	70.9	60.8	0.0	46.9
	最小値	0.0	0.0	250.0	40.0
	中央値	80.0	80.0	250.0	138.0
	最大値	250.0	210.0	250.0	210.0
	欠測数	2	0	2	0
回盲弁の有無	無	51 ( 81.0)	45 ( 80.4)	6 ( 85.7)	17 ( 73.9)
	有	11 ( 17.5)	10 ( 17.9)	1 ( 14.3)	5 ( 21.7)
	欠測	1 ( 1.6)	1 ( 1.8)	0 ( 0.0)	1 ( 4.3)

## 3.2 患者状態

解析対象集団：小児

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=49)	短腸症候群 (n=26)	運動機能障害 (n=19)	クローン病 (n=5)
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量
残存小腸の長さ (cm)	症例数	30	25	5	5
	平均値	69.7	58.8	124.0	150.0
	標準偏差	67.7	55.8	100.7	34.6
	最小値	0.0	0.0	0.0	100.0
	中央値	55.5	40.0	100.0	160.0
	最大値	250.0	180.0	250.0	180.0
	欠測数	19	1	14	0
残存小腸（十二指腸を含む） の長さ (cm)	症例数	8	8	0	0
	平均値	44.0	44.0	-	-
	標準偏差	30.9	30.9	-	-
	最小値	8.0	8.0	-	-
	中央値	44.5	44.5	-	-
	最大値	75.0	75.0	-	-
	欠測数	2	0	1	0
残存小腸（十二指腸を含まない） の長さ (cm)	症例数	21	16	5	5
	平均値	82.5	69.5	124.0	150.0
	標準偏差	75.3	64.1	100.7	34.6
	最小値	0.0	0.0	0.0	100.0
	中央値	70.0	43.5	100.0	160.0
	最大値	250.0	180.0	250.0	180.0
	欠測数	2	0	2	0
回盲弁の有無	無	25 ( 51.0)	19 ( 73.1)	6 ( 31.6)	5 ( 100.0)
	有	20 ( 40.8)	6 ( 23.1)	11 ( 57.9)	0 ( 0.0)
	欠測	4 ( 8.2)	1 ( 3.8)	2 ( 10.5)	0 ( 0.0)

註) 「十二指腸を含む/含まない」のチェックがない症例が1例あった。

解析対象集団：乳児

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=231)	短腸症候群 (n=106)	運動機能障害 (n=117)	クローン病 (n=0)
		症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量	症例数 (%) または統計量
残存小腸の長さ (cm)	症例数	175	98	73	-
	平均値	60.1	39.0	89.3	-
	標準偏差	51.1	35.7	55.7	-
	最小値	4.0	4.0	15.0	-
	中央値	50.0	30.0	75.0	-
	最大値	300.0	300.0	250.0	-
	欠測数	56	8	44	-
残存小腸（十二指腸を含む） の長さ (cm)	症例数	53	34	18	-
	平均値	51.1	37.2	77.8	-
	標準偏差	39.4	25.7	48.1	-
	最小値	5.0	5.0	16.0	-
	中央値	47.0	25.3	60.0	-
	最大値	190.0	100.0	190.0	-
	欠測数	10	1	7	-
残存小腸（十二指腸を含まない） の長さ (cm)	症例数	113	57	53	-
	平均値	62.8	37.2	91.2	-
	標準偏差	49.4	23.5	55.5	-
	最小値	4.0	4.0	15.0	-
	中央値	50.0	32.0	80.0	-
	最大値	250.0	117.0	250.0	-
	欠測数	3	1	2	-
回盲弁の有無	無	94 ( 40.7)	41 ( 38.7)	51 ( 43.6)	-
	有	112 ( 48.5)	57 ( 53.8)	50 ( 42.7)	-
	欠測	25 ( 10.8)	8 ( 7.5)	16 ( 13.7)	-

註) 「十二指腸を含む/含まない」のチェックがない症例が9例あった。

## 3.3 外科的治療歴

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー	全症例 (n=354)	短腸症候群 (n=195)	運動機能障害 (n=147)	クローン病 (n=28)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
腸管切除	無	123 (34.7)	37 (19.0)	78 (53.1)	0 (0.0)
	有	231 (65.3)	158 (81.0)	69 (46.9)	28 (100.0)
胃瘻造設	無	324 (91.5)	180 (92.3)	134 (91.2)	28 (100.0)
	有	30 (8.5)	15 (7.7)	13 (8.8)	0 (0.0)
腸瘻造設	無	173 (48.9)	138 (70.8)	28 (19.0)	24 (85.7)
	有	181 (51.1)	57 (29.2)	119 (81.0)	4 (14.3)
腸管延長術	無	342 (96.6)	185 (94.9)	145 (98.6)	28 (100.0)
	有	12 (3.4)	10 (5.1)	2 (1.4)	0 (0.0)
その他	無	187 (52.8)	108 (55.4)	73 (49.7)	22 (78.6)
	有	167 (47.2)	87 (44.6)	74 (50.3)	6 (21.4)

註) 調査票項目のうち、少なくとも1回以上選択されたものを有とした

解析対象集団：成人

項目	カテゴリー	全症例 (n=63)	短腸症候群 (n=56)	運動機能障害 (n=7)	クローン病 (n=23)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
腸管切除	無	6 (9.5)	5 (8.9)	1 (14.3)	0 (0.0)
	有	57 (90.5)	51 (91.1)	6 (85.7)	23 (100.0)
胃瘻造設	無	63 (100.0)	56 (100.0)	7 (100.0)	23 (100.0)
	有	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
腸瘻造設	無	49 (77.8)	45 (80.4)	4 (57.1)	19 (82.6)
	有	14 (22.2)	11 (19.6)	3 (42.9)	4 (17.4)
腸管延長術	無	63 (100.0)	56 (100.0)	7 (100.0)	23 (100.0)
	有	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	無	46 (73.0)	42 (75.0)	4 (57.1)	19 (82.6)
	有	17 (27.0)	14 (25.0)	3 (42.9)	4 (17.4)

註) 調査票項目のうち、少なくとも1回以上選択されたものを有とした

解析対象集団：小児

項目	カテゴリー	全症例 (n=49)	短腸症候群 (n=26)	運動機能障害 (n=19)	クローン病 (n=5)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
腸管切除	無	18 (36.7)	2 (7.7)	13 (68.4)	0 (0.0)
	有	31 (63.3)	24 (92.3)	6 (31.6)	5 (100.0)
胃瘻造設	無	41 (83.7)	21 (80.8)	16 (84.2)	5 (100.0)
	有	8 (16.3)	5 (19.2)	3 (15.8)	0 (0.0)
腸瘻造設	無	33 (67.3)	22 (84.6)	8 (42.1)	5 (100.0)
	有	16 (32.7)	4 (15.4)	11 (57.9)	0 (0.0)
腸管延長術	無	49 (100.0)	26 (100.0)	19 (100.0)	5 (100.0)
	有	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	無	21 (42.9)	14 (53.8)	6 (31.6)	3 (60.0)
	有	28 (57.1)	12 (46.2)	13 (68.4)	2 (40.0)

註) 調査票項目のうち、少なくとも1回以上選択されたものを有とした

解析対象集団：乳児

項目	カテゴリー	全症例 (n=231)	短腸症候群 (n=106)	運動機能障害 (n=117)	クローン病 (n=0)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
腸管切除	無	97 (42.0)	29 (27.4)	63 (53.8)	-
	有	134 (58.0)	77 (72.6)	54 (46.2)	-
胃瘻造設	無	209 (90.5)	96 (90.6)	107 (91.5)	-
	有	22 (9.5)	10 (9.4)	10 (8.5)	-
腸瘻造設	無	85 (36.8)	66 (62.3)	15 (12.8)	-
	有	146 (63.2)	40 (37.7)	102 (87.2)	-
腸管延長術	無	221 (95.7)	98 (92.5)	115 (98.3)	-
	有	10 (4.3)	8 (7.5)	2 (1.7)	-
その他	無	114 (49.4)	47 (44.3)	62 (53.0)	-
	有	117 (50.6)	59 (55.7)	55 (47.0)	-

註) 調査票項目のうち、少なくとも1回以上選択されたものを有とした

## 3.4 その他治療歴

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー	全症例 (n=354)	短腸症候群 (n=195)	運動機能障害 (n=147)	クローン病 (n=28)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
減圧用胃瘻・腸瘻	無	227 (64.1)	161 (82.6)	57 (38.8)	23 (82.1)
	有	114 (32.2)	29 (14.9)	84 (57.1)	4 (14.3)
	不明	8 (2.3)	2 (1.0)	4 (2.7)	0 (0.0)
	欠測	5 (1.4)	3 (1.5)	2 (1.4)	1 (3.6)
腸運動改善薬	無	229 (64.7)	136 (69.7)	87 (59.2)	17 (60.7)
	有	104 (29.4)	45 (23.1)	55 (37.4)	4 (14.3)
	不明	16 (4.5)	11 (5.6)	3 (2.0)	6 (21.4)
	欠測	5 (1.4)	3 (1.5)	2 (1.4)	1 (3.6)
プロバイオティクス	無	129 (36.4)	76 (39.0)	48 (32.7)	12 (42.9)
	有	207 (58.5)	106 (54.4)	95 (64.6)	11 (39.3)
	不明	12 (3.4)	9 (4.6)	2 (1.4)	4 (14.3)
	欠測	6 (1.7)	4 (2.1)	2 (1.4)	1 (3.6)
その他 (成長ホルモン、グルタミン、 漢方薬等)	無	181 (51.1)	106 (54.4)	72 (49.0)	19 (67.9)
	有	163 (46.0)	85 (43.6)	71 (48.3)	8 (28.6)
	不明				
	欠測	10 (2.8)	4 (2.1)	4 (2.7)	1 (3.6)

解析対象集団：成人

項目	カテゴリー	全症例 (n=63)	短腸症候群 (n=56)	運動機能障害 (n=7)	クローン病 (n=23)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
減圧用胃瘻・腸瘻	無	51 (81.0)	48 (85.7)	3 (42.9)	19 (82.6)
	有	9 (14.3)	5 (8.9)	4 (57.1)	3 (13.0)
	不明	1 (1.6)	1 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	欠測	2 (3.2)	2 (3.6)	0 (0.0)	1 (4.3)
腸運動改善薬	無	43 (68.3)	40 (71.4)	3 (42.9)	15 (65.2)
	有	13 (20.6)	9 (16.1)	4 (57.1)	3 (13.0)
	不明	5 (7.9)	5 (8.9)	0 (0.0)	4 (17.4)
	欠測	2 (3.2)	2 (3.6)	0 (0.0)	1 (4.3)
プロバイオティクス	無	42 (66.7)	37 (66.1)	5 (71.4)	12 (52.2)
	有	15 (23.8)	13 (23.2)	2 (28.6)	7 (30.4)
	不明	4 (6.3)	4 (7.1)	0 (0.0)	3 (13.0)
	欠測	2 (3.2)	2 (3.6)	0 (0.0)	1 (4.3)
その他 (成長ホルモン、グルタミン、 漢方薬等)	無	50 (79.4)	44 (78.6)	6 (85.7)	16 (69.6)
	有	11 (17.5)	10 (17.9)	1 (14.3)	6 (26.1)
	不明				
	欠測	2 (3.2)	2 (3.6)	0 (0.0)	1 (4.3)

解析対象集団：小児

項目	カテゴリー	全症例 (n=49)	短腸症候群 (n=26)	運動機能障害 (n=19)	クローン病 (n=5)
		症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)	症例数 (%)
減圧用胃瘻・腸瘻	無	30 (61.2)	21 (80.8)	6 (31.6)	4 (80.0)
	有	18 (36.7)	5 (19.2)	13 (68.4)	1 (20.0)
	不明	1 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	欠測	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
腸運動改善薬	無	31 (63.3)	19 (73.1)	10 (52.6)	2 (40.0)
	有	15 (30.6)	5 (19.2)	9 (47.4)	1 (20.0)
	不明	3 (6.1)	2 (7.7)	0 (0.0)	2 (40.0)
	欠測	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
プロバイオティクス	無	14 (28.6)	8 (30.8)	5 (26.3)	0 (0.0)
	有	33 (67.3)	17 (65.4)	14 (73.7)	4 (80.0)
	不明	2 (4.1)	1 (3.8)	0 (0.0)	1 (20.0)
	欠測	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他 (成長ホルモン、グルタミン、 漢方薬等)	無	25 (51.0)	16 (61.5)	8 (42.1)	3 (60.0)
	有	23 (46.9)	10 (38.5)	11 (57.9)	2 (40.0)
	不明				
	欠測	1 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

## 3.4 その他治療歴

解析対象集団：乳児

項目	カテゴリー	全症例 (n=231)	短腸症候群 (n=106)	運動機能障害 (n=117)	クローン病 (n=0)
		症例数(%)	症例数(%)	症例数(%)	症例数(%)
減圧用胃瘻・腸瘻	無	140 ( 60.6)	87 ( 82.1)	47 ( 40.2)	-
	有	82 ( 35.5)	17 ( 16.0)	64 ( 54.7)	-
	不明	6 ( 2.6)	1 ( 0.9)	4 ( 3.4)	-
	欠測	3 ( 1.3)	1 ( 0.9)	2 ( 1.7)	-
腸運動改善薬	無	150 ( 64.9)	74 ( 69.8)	72 ( 61.5)	-
	有	70 ( 30.3)	27 ( 25.5)	40 ( 34.2)	-
	不明	8 ( 3.5)	4 ( 3.8)	3 ( 2.6)	-
	欠測	3 ( 1.3)	1 ( 0.9)	2 ( 1.7)	-
プロバイオティクス	無	71 ( 30.7)	30 ( 28.3)	37 ( 31.6)	-
	有	151 ( 65.4)	71 ( 67.0)	76 ( 65.0)	-
	不明	5 ( 2.2)	3 ( 2.8)	2 ( 1.7)	-
	欠測	4 ( 1.7)	2 ( 1.9)	2 ( 1.7)	-
その他 (成長ホルモン、グルタミン、 漢方薬等)	無	102 ( 44.2)	44 ( 41.5)	56 ( 47.9)	-
	有	122 ( 52.8)	60 ( 56.6)	57 ( 48.7)	-
	欠測	7 ( 3.0)	2 ( 1.9)	4 ( 3.4)	-

## 3.5 過去3か月間の栄養法

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリ または統計量	全症例 (n=354)	短腸症候群 (n=195)	運動機能障害 (n=147)	クローン病 (n=28)	
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	
栄養法の分類（複数選択可）	経口栄養	274	144	119	14	
	経管栄養	71	46	23	3	
	中心静脈栄養	239	129	103	22	
経口栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数	158	84	66	7
		平均値	62.3	63.8	61.6	37.5
		標準偏差	35.5	36.3	34.6	36.7
		最小値	1.0	1.0	1.0	10.0
		中央値	60.5	66.0	57.5	20.0
		最大値	100.0	100.0	100.0	100.0
		欠測数	116	60	53	7
	形態（複数選択可）	通常食	191	100	81	10
	半固形食	18	11	7	0	
	流動食	68	39	28	4	
	その他	28	11	16	0	
経管栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数	32	16	14	0
		平均値	35.1	38.6	29.7	-
		標準偏差	27.6	32.1	21.7	-
		最小値	0.7	0.7	5.6	-
		中央値	24.0	24.0	22.5	-
		最大値	100.0	100.0	85.0	-
		欠測数	39	30	9	3
	形態（複数選択可）	半消化態	17	11	4	0
	完全消化態	12	6	6	0	
	成分栄養	30	22	8	3	
	その他	13	10	3	0	
中心静脈栄養 の場合	カロリーの割合(%)	症例数	119	54	59	3
		平均値	66.1	62.7	69.0	66.7
		標準偏差	27.8	26.3	28.7	41.6
		最小値	0.8	15.0	0.8	20.0
		中央値	66.0	60.0	70.0	80.0
		最大値	100.0	100.0	100.0	100.0
		欠測数	120	75	44	19
	投与ルート	右内頸静脈	25	13	11	0
		左内頸静脈	16	9	6	0
		右外頸静脈	23	10	13	0
		左外頸静脈	11	3	8	0
		右鎖骨下静脈	80	44	32	8
		左鎖骨下静脈	50	30	20	7
		右大腿静脈	8	3	4	1
		左大腿静脈	4	3	1	1
		その他	17	9	8	0
	形態	24時間持続	86( 36.0)	48( 37.2)	38( 36.9)	3( 13.6)
		間欠的	143( 59.8)	76( 58.9)	60( 58.3)	19( 86.4)
		欠測	10( 4.2)	5( 3.9)	5( 4.9)	0( 0.0)
	間欠的な場合 -時間/週	症例数	94	47	41	7
		平均値	78.6	70.5	90.8	56.7
		標準偏差	30.3	28.6	29.5	37.5
		最小値	6.0	6.0	8.0	8.0
中央値		84.0	70.0	84.0	49.0	
最大値		140.0	126.0	140.0	112.0	
欠測数	49	29	19	12		
静脈注射用脂肪製剤	無	104( 43.5)	55( 42.6)	47( 45.6)	16( 72.7)	
	有	128( 53.6)	72( 55.8)	51( 49.5)	6( 27.3)	
	欠測	7( 2.9)	2( 1.6)	5( 4.9)	0( 0.0)	
有の場合-mL/週	症例数	114	66	44	6	
	平均値	177.7	190.1	158.4	358.3	
	標準偏差	192.1	190.7	189.8	215.5	
	最小値	5.0	5.0	7.5	100.0	
	中央値	100.0	100.0	95.0	325.0	
	最大値	700.0	700.0	700.0	700.0	
欠測数	14	6	7	0		

## 3.5 過去3か月間の栄養法

解析対象集団：全症例

項目	カテゴリー または統計量		全症例 (n=354)	短腸症候群 (n=195)	運動機能障害 (n=147)	クローン病 (n=28)
			症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
離脱の有無	離脱		9 ( 3.8)	8 ( 6.2)	1 ( 1.0)	2 ( 9.1)
	継続中		218 ( 91.2)	115 ( 89.1)	96 ( 93.2)	18 ( 81.8)
離脱の場合 - 開始日から離脱 までの期間 (年)	欠測		12 ( 5.0)	6 ( 4.7)	6 ( 5.8)	2 ( 9.1)
	症例数		7	7	0	2
	平均値		20.4	20.4	-	54.6
	標準偏差		31.8	31.8	-	49.6
	最小値		1.0	1.0	-	19.5
	中央値		4.1	4.1	-	54.6
	最大値		89.7	89.7	-	89.7
	欠測数		2	1	1	0



## 3.5 過去3か月間の栄養法

解析対象集団：成人

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=63)	短腸症候群 (n=56)	運動機能障害 (n=7)	クローン病 (n=23)	
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	
栄養法の分類（複数選択可）	経口栄養 経管栄養 中心静脈栄養	41 4 51	37 4 46	4 0 5	13 2 18	
経口栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数 26 平均値 43.9 標準偏差 33.4 最小値 5.0 中央値 35.0 最大値 100.0 欠測数 15	23 42.9 32.4 9.0 30.0 100.0 14	3 51.7 47.5 5.0 50.0 100.0 1	7 37.5 36.7 10.0 20.0 100.0 6	
	形態（複数選択可）	通常食 半固形食 流動食 その他	29 1 10 1	25 1 9 1	4 0 1 0	9 0 4 0
経管栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数 1 平均値 100.0 標準偏差 - 最小値 100.0 中央値 100.0 最大値 100.0 欠測数 3	1 100.0 - 100.0 100.0 100.0 3	0 - - - - - 0	0 - - - - - 0	
	形態（複数選択可）	半消化態 完全消化態 成分栄養 その他	1 0 3 0	1 0 3 0	0 0 0 0	0 0 2 0
中心静脈栄養 の場合	カロリーの割合(%)	症例数 22 平均値 74.3 標準偏差 23.6 最小値 20.0 中央値 81.7 最大値 100.0 欠測数 29	18 71.6 23.3 20.0 75.0 100.0 28	4 86.3 24.3 50.0 97.5 100.0 1	3 66.7 41.6 20.0 80.0 100.0 15	
	投与ルート	右内頸静脈 左内頸静脈 右外頸静脈 左外頸静脈 右鎖骨下静脈 左鎖骨下静脈 右大腿静脈 左大腿静脈 その他	1 0 0 0 25 15 4 2 2	1 0 0 0 22 15 2 2 2	0 0 0 0 3 0 2 0 0	0 0 0 0 7 6 1 1 0
	形態	24時間持続 間欠的	14( 27.5) 37( 72.5)	12( 26.1) 34( 73.9)	2( 40.0) 3( 60.0)	2( 11.1) 16( 88.9)
	間欠的な場合 -時間/週	症例数 17 平均値 59.4 標準偏差 27.9 最小値 8.0 中央値 50.0 最大値 112.0 欠測数 20	16 57.9 28.0 8.0 49.5 112.0 18	1 84.0 - 84.0 84.0 84.0 2	7 56.7 37.5 8.0 49.0 112.0 9	
	静脈注射用脂肪製剤	無 有 欠測	32( 62.7) 18( 35.3) 1( 2.0)	28( 60.9) 17( 37.0) 1( 2.2)	4( 80.0) 1( 20.0) 0( 0.0)	13( 72.2) 5( 27.8) 0( 0.0)
	有の場合-mL/週	症例数 18 平均値 378.5 標準偏差 233.7 最小値 62.5 中央値 325.0 最大値 700.0 欠測数 0	17 359.6 226.2 62.5 300.0 700.0 0	1 700.0 - 700.0 700.0 700.0 0	5 370.0 238.8 100.0 350.0 700.0 0	

## 3.5 過去3か月間の栄養法

解析対象集団：成人

項目	カテゴリー または統計量		全症例 (n=63)	短腸症候群 (n=56)	運動機能障害 (n=7)	クローン病 (n=23)
			症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
	離脱の有無	離脱	2 ( 3.9)	2 ( 4.3)	0 ( 0.0)	1 ( 5.6)
		継続中 欠測	46 ( 90.2) 3 ( 5.9)	41 ( 89.1) 3 ( 6.5)	5 ( 100.0) 0 ( 0.0)	15 ( 83.3) 2 ( 11.1)
	離脱の場合 - 開始日から離脱 までの期間 (年)	症例数	2	2	0	1
		平均値	45.8	45.8	-	89.7
		標準偏差	62.1	62.1	-	-
		最小値	1.9	1.9	-	89.7
		中央値	45.8	45.8	-	89.7
		最大値	89.7	89.7	-	89.7
		欠測数	0	0	0	0

## 3.5 過去3か月間の栄養法

解析対象集団：小児

項目	カテゴリー または統計量	全症例 (n=49)	短腸症候群 (n=26)	運動機能障害 (n=19)	クローン病 (n=5)			
		症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量			
栄養法の分類（複数選択可）	経口栄養	41	19	18	1			
	経管栄養	14	10	3	1			
	中心静脈栄養	32	16	14	4			
経口栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数	20	6	11	0		
		平均値	63.7	89.3	52.6	-		
		標準偏差	32.8	17.1	34.7	-		
		最小値	10.0	61.0	10.0	-		
		中央値	68.0	100.0	40.0	-		
		最大値	100.0	100.0	100.0	-		
		欠測数	21	13	7	1		
	形態（複数選択可）	通常食	32	14	14	1		
		半固形食	2	2	0	0		
		流動食	6	4	1	0		
		その他	2	0	2	0		
		経管栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数	4	1	2	0
				平均値	31.3	10.0	47.5	-
標準偏差	36.1			-	53.0	-		
最小値	10.0			10.0	10.0	-		
中央値	15.0			10.0	47.5	-		
最大値	85.0			10.0	85.0	-		
欠測数	10	9		1	1			
形態（複数選択可）	半消化態	5	3	1	0			
	完全消化態	3	1	2	0			
	成分栄養	5	5	0	1			
	その他	1	1	0	0			
中心静脈栄養の場合	カロリーの割合(%)	症例数	13	2	10	0		
		平均値	59.3	27.0	66.7	-		
		標準偏差	32.1	2.8	32.7	-		
		最小値	0.8	25.0	0.8	-		
		中央値	66.0	27.0	72.5	-		
		最大値	100.0	29.0	100.0	-		
		欠測数	19	14	4	4		
	投与ルート	右内頸静脈	4	1	3	0		
		左内頸静脈	2	1	1	0		
		右外頸静脈	2	0	2	0		
		左外頸静脈	1	0	1	0		
		右鎖骨下静脈	7	4	1	1		
		左鎖骨下静脈	9	6	3	1		
		右大腿静脈	2	0	2	0		
		左大腿静脈	0	0	0	0		
		その他	1	0	1	0		
	形態	24時間持続	8(25.0)	3(18.8)	5(35.7)	1(25.0)		
		間欠的	22(68.8)	12(75.0)	8(57.1)	3(75.0)		
		欠測	2(6.3)	1(6.3)	1(7.1)	0(0.0)		
	間欠的な場合 -時間/週	症例数	15	7	6	0		
		平均値	76.9	76.4	81.0	-		
		標準偏差	28.7	29.5	34.6	-		
		最小値	24.0	24.0	24.0	-		
中央値		77.0	84.0	80.5	-			
最大値		126.0	112.0	126.0	-			
静脈注射用脂肪製剤	無	12(37.5)	5(31.3)	7(50.0)	3(75.0)			
	有	20(62.5)	11(68.8)	7(50.0)	1(25.0)			
有の場合-mL/週	症例数	15	10	4	1			
	平均値	163.5	207.8	90.6	300.0			
	標準偏差	142.0	148.6	81.3	-			
	最小値	12.5	30.0	12.5	300.0			
	中央値	100.0	209.0	75.0	300.0			
	最大値	500.0	500.0	200.0	300.0			
欠測数	5	1	3	0				

## 3.5 過去3か月間の栄養法

解析対象集団：小児

項目	カテゴリー または統計量		全症例 (n=49)	短腸症候群 (n=26)	運動機能障害 (n=19)	クローン病 (n=5)
			症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量	症例数(%) または統計量
	離脱の有無	離脱	2 ( 6.3)	2 ( 12.5)	0 ( 0.0)	1 ( 25.0)
		継続中	30 ( 93.8)	14 ( 87.5)	14 ( 100.0)	3 ( 75.0)
	離脱の場合 - 開始日から離脱 までの期間 (年)	症例数	2	2	0	1
		平均値	10.3	10.3	-	19.5
		標準偏差	13.1	13.1	-	-
		最小値	1.0	1.0	-	19.5
		中央値	10.3	10.3	-	19.5
		最大値	19.5	19.5	-	19.5
		欠測数	0	0	0	0